

自己評価記入シート（保育所版）




【自己評価の方法例】

- 1 サービス評価委員会の設置
自己評価は、施設長を含めた各部門の代表者で構成される委員会を設置するなど、施設全体の意見が反映される仕組みが必要です。
- 2 学習会・研修会の開催
施設長は、評価委員を対象に自己評価の意義、目的、自己評価の基準等について、理解されるよう研修を実施します。
- 3 評価基準による評価
評価基準毎に設けられた「評価の着眼点」の一つひとつについて、委員の合議によりその実施状況を判定し、「できている」場合、チェックを入れます。
「私たちの実践していること」欄には具体的な取組事例等について記入（入力）します。
※PC上でチェックボックスをチェックすると「評価」欄に自動的にABCが表示されます。

【A、B、C評価の目安と考え方】

- A『十分できている』状態→「b評価項目が75%以上、かつa評価項目が50%以上できている状態」
B『ある程度できているが、不十分』な状態→「b評価項目が50%以上できている状態」若しくは「a及びb評価項目のうち50%以上できている状態」
(但しAを除く)
C『できていない』若しくは『ほとんどできていない』状態→AB以外
- 提供するサービス種別に該当しない場合

【凡 例】

-  … b 評価項目
 … a 評価項目
 … 特記項目… 状況を確認し、コメントに反映させるのみの項目

「観察」：施設内外の状況を目視によって確認すること 「聴取」：関係職員等との質疑応答・対話によって確認すること
「書類」：当該事項を実施していることがわかる書類の有無やその内容を確認すること
○：原則確認 △：可能な範囲で確認
(「書類」にはPCデータ、ホームページ等デジタルデータも含むものとする)

自己評価記入シート

園児の安全確保のためのリスクを把握し、安全確保に向けた具体的な取組を行っている。

評価

A

	評価の着眼点	観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	園内で起きた事故や、事故等につながりそうな事例を収集し、所定の書式に記録するとともに、職員の参画のもとでその原因分析を行い、再発防止や未然防止のための課題発見や施策を行っている。		○	○	事後処理状況簿	「事故処理状況簿」に記録している。全職員が園内で起きた事故についての現状把握している。
<input checked="" type="checkbox"/>	事故防止のためのチェックリスト等があり活用している。			○	遊具点検簿	毎月1回、消火設備・遊具点検簿に基づいて点検している。
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもたちに対する安全教育を実施している。		○	○	各種訓練記録 指導計画 保育日誌	①正しい道路の歩き方等、交通安全教室で指導を受けている。また、交通安全に関する紙芝居等の読み聞かせを行っている。 ②消火避難訓練、地震訓練、防犯訓練を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	会議・研修等により、事故防止に関する検討や職員に対する意識啓発の取組を行っている。		○	○	各種訓練記録 復命簿	職員会議や研修によって、事故防止の意識啓発を行っている。
<input type="checkbox"/>	社会で起きた大小の事故の例をもとに、マニュアルに加筆し、日常の実践にそれを反映している。					
<input checked="" type="checkbox"/>	事故防止策等の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。			○	事後処理状況簿	事故が発生した時には、速やかに事後処状況簿に記述し、園長・副園長・主任は現場にて検証するようにしている。

自己評価記入シート

日々の保育の中で健康管理についてはマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態に応じて実施している。

評価

A

評価の着眼点		観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	既往症や予防接種の状況について常に保護者から情報を得られるように努めている。		○	○	児童表 連絡帳 保育日誌	入所前に既往症、予防接種などの生育歴を児童表に記入してもらい、保護者から直接聞き取りを行っている。 入所後はその都度、保護者より口頭で連絡を受け、その都度記録している。
<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの健康状態に関する情報が関係職員に周知されている。		○	○	児童表 保育日誌 配慮が必要な児童リスト	①入所時における一人ひとりの健康状態に関する資料が整理されている事を確認。保護者からの聞き取りにより、熱性けいれんを起こす可能性の強い子どもについては、熱が37.5度以上で保護者に連絡するようにしている。 ②感染症が発生した場合にはお知らせボードに記入し、周知するようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	体調のすぐれない子どもについては、その日の過ごし方について柔軟に対応している。		○	○	保育日誌	担当保育士が主任・園長に相談しその日の対応を決定し保育日誌に記録。
<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、保育所での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。		○	△	保育日誌 連絡帳	家庭において健康状態が日常と異なる時には、保護者から口頭で受け、それを記述する。 また、保護者が迎えに来た時に健康状態を伝える仕組みをとっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの体調悪化・けが等については保護者に伝えている。		○	○	事後処理状況簿 連絡帳 保育日誌	保育日誌及び事後処理状況簿に記述している。さらに、保護者送迎時に伝達しているかの有無を聞き取りにて確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	健康管理に関するマニュアルがある。		○	○	入園のしおり	医学的根拠をもとに保護者と保育園が共通した認識によって、健康管理をすすめるために資料を確認したところ、入園のしおりに記述されていることを確認した。
【講評】						

自己評価記入シート

32

A-1-(1)-① 保育所保育指針に基づき、保育課程、年間保育指導計画及び月間指導計画を作成し、整合性を図っている。

評価

A

評価の着眼点		観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	保育課程及び指導計画が、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成されている。		○	○	保育課程 年間指導計画	保育指針の趣旨をとらえて保育課程から年間指導計画へ展開をしている事をそれらの作成上の書類から確認
<input checked="" type="checkbox"/>	年間および月間指導計画に基づいて保育が実施される仕組みが構築されている。		○	○	年間指導計画 月間指導計画 保育日誌	年間指導計画→月間指導計画、→保育日誌へ保育内容が展開され、実施されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	保育課程と指導計画において、整合性が図られている。		○	○	保育課程 年間指導計画 月間指導計画	保育課程の内容が年間指導計画、月間指導計画へ領域ごとに展開されるよう仕組みがあり、整合性が図られていることを確認。
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの成長状況や特性を把握し、それに基づく配慮事項や成長に合わせた保育内容を立案する際、関係職員の合議等を行って指導計画を策定している。		○	○	保育課程 年間指導計画 月間指導計画	毎月1回の職員会議で、園長、主任、各クラスの担任が集まり、次月の保育内容を立案する際に配慮の必要な子どもの配慮の内容を話し合い、それを基に指導計画を策定している。

自己評価記入シート

月に1回以上指導計画の評価を行い、その結果を次の指導計画に活かしている。

評価

A

	評価の着眼点	観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の立案や見直しの時期、計画策定の会議における職員参加、保護者の意向把握と同意を得るための手順など、組織的な仕組みを定めて実施している。		○	○	年間指導計画 月間指導計画	毎月の職員会議に、園長、主任、各クラスのリーダーが参加し処遇・給食・衛生会議を実施している。リーダーはクラスの職員へ会議内容の伝達を口頭で実施。会議内容は会議録に記入し全職員が閲覧する仕組みをとっている。
<input type="checkbox"/>	評価は、定例の会議・ミーティングを含め、関係職員（組やグループを担当する職員と施設長・主任等）の意見を聞くための仕組みを設けて行われている。					
<input checked="" type="checkbox"/>	評価の記録については、職員間で共有する機会を設けている。		○	○	年間指導計画 月間指導計画	各クラスの月間指導計画に評価反省欄を設けて、各クラスの担当保育士が記録し、いつでも見ることができるようにしている。園全体に関する内容は、会議録を閲覧できる仕組みを取り、全職員が共有できるようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	月に1回以上、指導計画の実践状況について評価を行っていることが記録（指導計画・会議録・日誌等）に残されている。		○	○	月間指導計画 保育日誌	保育日誌は毎日、月間指導計画は月1回評価反省が記録されていることを確認
<input checked="" type="checkbox"/>	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。		○	○	年間指導計画 月間指導計画	指導計画を見直し、変更した内容は赤字で表示し、職員に周知する手順を定めている。
<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果が指導計画に活かされている。		○	○	年間指導計画 月間指導計画	保育日誌、月間指導計画で評価反省した内容を次回の保育に活かしていることを確認
<input type="checkbox"/>	記録する職員で記録内容にばらつきが生じないように工夫をしている。					

自己評価記入シート

定期的に個別計画の評価を行い、その結果が次の個別計画に活かされている。

評価

A

	評価の着眼点	観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	0～2歳児については、定期的（月に1回以上）に個別計画の実施状況の評価を行っていることが記録（指導計画・会議録・日誌・児童票等）に残されている。		○	○	個別指導計画	毎月、各園児の担当職員が個別指導計画で評価を行っていることを確認
<input checked="" type="checkbox"/>	3～5歳児については、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化などに応じて定期的に（四半期に1回以上）評価を行っていることが記録（指導計画・会議録・日誌・児童票等）に残されている。		○	○	月間指導計画 経過記録 児童観察記録	子どもの実態は半年毎に評価し、子どもを取り巻く状況の変化は観察記録に記録している。
<input checked="" type="checkbox"/>	評価は、定例の会議・ミーティングを含め、関係職員（組やグループを担当する職員と施設長・主任等）の意見を聞くための仕組みを設けて行われている。		○		職員会	毎月の職員会で各クラスの担当職員が報告し、主任、園長の意見、助言、指導を受ける仕組みを設けている。
<input type="checkbox"/>	評価の記録については、職員間で共有する機会を設けている。					
<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果が指導計画・個人別計画に活かされている。		○	○	個別指導計画 月間指導計画 経過記録 児童観察記録	
<input type="checkbox"/>	記録する職員で記録内容にばらつきが生じないように工夫をしている。					

【講評】

自己評価記入シート

内科検診、歯科検診、身体計測等（以下、「健康診断等」という。）の結果を保護者に知らせ、重要部分については保護者に説明し、同意を得るとともに、結果について保育での配慮がされている。

評価

A

評価の着眼点		観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	健康診断等の結果が関係職員に周知されている。		○	○	児童健康診断票	健康診断実施後に結果を記録し、周知されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	家庭保育に有効に反映されるよう、健康診断等結果を保護者に伝達するとともに、重要部分については説明し、同意を得ている。		○	○	健康診断票	保護者には健診結果票で伝達し、個別に直接口頭で説明している。医師の見解と指導・助言を受けたことを伝える。
<input checked="" type="checkbox"/>	健康診断等の結果について、嘱託医からの助言・指導等を受け、保育での配慮に反映させている。		○			嘱託医師の助言指導を受け、保育に配慮すべきことは、園長、主任から担当職員に伝えている。

自己評価記入シート

子どもが健康で快適に過ごせるように、戸外遊びをはじめ園全体において整理整頓、清潔、清掃、採光、換気、照明、室温等への配慮をしている。

評価
A

評価の着眼点		観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	園庭では幼児の運動ができる場所を確保している。	○	○			運動ができる場所を確保している
<input type="checkbox"/>	子どもの生活や活動に必要な明るさに配慮している。					
<input type="checkbox"/>	必要に応じて換気や通風を行っている	○	○			
<input checked="" type="checkbox"/>	各部屋に温湿度計などがあり、温度・湿度に配慮している。	○	○			保育室に温度湿度計がある。当園は自衛隊が近く、防音園舎である為、エアコンにて温度調整を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	設備の管理や清掃等が十分に行われ、保育所の屋内・外とも清潔に保たれている。	○	○			毎日、屋内・屋外とも清掃を行い、危険箇所についてはその都度、園長に報告している。
<input checked="" type="checkbox"/>	手洗い場、トイレは、子どもが利用しやすいよう整備され、安全への工夫がされている。	○	○	○	消火設備・遊具点検簿	毎日、手洗い場、トイレの清掃を実施し、危険箇所は発見の都度、園長に報告。
<input checked="" type="checkbox"/>	寝具の消毒や乾燥を定期的に行っている。		○	○	入園のしおり	寝具は毎週土曜日に各家庭が持ち帰り、洗濯をしてもらっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	屋外の砂場や遊具の衛生面に配慮し、その取組を記録している。		○	○	砂クリーニングの領収書	砂場で遊ぶ前にその都度点検し、週1回衛生水を散水している。また、年2回砂の消毒・クリーニングを業者に依頼している。屋外遊具に関しては、桜島の降灰があった場合は、ほうきで掃いたり、布巾で拭いたりしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの安全確保のための施設整備、遊具の定期的点検を実施している。	○	○	○	遊具点検簿	毎月安全点検を実施し、遊具点検簿に記載
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの目覚めやSIDS防止に対応するため、午睡中も保育者が身近にいる。	○	○			午睡中は、保育士が必ず保育室にいる。また、0歳児に対しては乳幼児用体動センサーを使用している。
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの状況に応じて、落ち着いて過ごせる場所の設定や配慮を行っている。	○	○			情緒が不安定な子どもや体調の不調を訴える子どもは、医務室で落ち着いて過ごせるようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	自然物を取り入れて季節を感じられる工夫や、落ち着いて過ごせるよう色づかいに配慮した保育環境づくりの工夫をしている。	○	○	○	年間指導計画 月間指導計画	年中、壁面等が同じ色彩にならないよう工夫している。
<input type="checkbox"/>	音楽や保育者の声が子どもの生活や活動に与える影響を考慮して、具体的に配慮している。					

自己評価記入シート

子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。

評価

B

評価の着眼点		観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	発育期にある子どもの食事の重要性を保護者に伝えている。			○	食事アンケート調査結果	食事アンケート調査結果のコメント欄にて伝えている。
<input type="checkbox"/>	保護者に保育所で子どもの食事に配慮していること（栄養、味付け等）を知らせる取組を行っている。					
<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に園で提供する食事に対する関心を促すための取組を行っている。	○	○	○	母子草	母子草でメニューの紹介をしている。
<input type="checkbox"/>	食材や食器の素材の安全性に留意し、保護者にも伝えている。					
<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での食事形態や食事内容を考慮し、献立の作成に反映して給食を提供している。			○	食事アンケート調査結果 献立表	食事アンケートを実施して実態把握、食事アンケート調査結果で公表。

自己評価記入シート

子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。

評価

B

評価の着眼点	観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input type="checkbox"/> 子どもには、わかりやすい温かな言葉づかいでおだやかに話そう、職員の共通理解のもとで実践している。					
<input type="checkbox"/> 登所時等に泣く子どもに対しては、子どもの状況に応じて、子どもが安心して落ち着くように接している。					
<input checked="" type="checkbox"/> 指導計画などに必要に応じて一人ひとりの子どもを受容するための援助や配慮などが書かれている。		○	○	年間指導計画 月間指導計画 個別計画	一人ひとりの子どもを受容するための援助や配慮は、個別指導計画に残されている。
<input checked="" type="checkbox"/> 気になる場面については、子どもの内面性の理解や保育上の意図、危険性などに留意して援助を行い、記録している。	○	○	○	月間指導計画	気になる子どもについては、その都度個別指導計画に記入して、配慮を園長、主任の助言をもらっている。

自己評価記入シート

基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。

評価

A

評価の着眼点		観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/>	排泄での失敗時などには、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。	○	○	○	個別指導計画及び月間指導計画	おもらしをした事に対して追及せず、「気持ち悪かったね」、「次は先生に教えてね」など、声をかけている。
<input checked="" type="checkbox"/>	衣服の脱ぎ着に際して、子どもの主体的な気持ちを尊重する関わりを実践している。	○	○	○	月間指導計画	子どもが「自分で」と意欲的に取り組む気持ちを尊重し、できないところは保育士が援助している。
<input checked="" type="checkbox"/>	休息時には、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。	○	○	○	個別指導計画	保育士が傍について背中を触れながら睡眠に誘ったり、子守唄を歌ったりしている
<input checked="" type="checkbox"/>	排泄は、個人差があることを十分に配慮し、その一人ひとりの子どもについて傾向や特徴を把握している。	○	○	○	個別指導計画	個人差がある為、時間を見て、一人ひとりに合ったタイミングで声を掛け、排泄に誘っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫している。	○	○	○	個別指導計画	自分で着脱し、伸縮性がある衣服を準備してもらったり、子どもがわかりやすいように名前を記入してもらっている。
<input checked="" type="checkbox"/>	午睡、休息は子どもの年齢や発達を考慮し、日々の子どもの状況に応じて対応している。	○	○	○	個別指導計画	添い寝や傍で、`トントン`としたりして、落ち着いて眠れるようにする。また、乳児は一人ひとりに合った寝かせ方を行っている。(抱っこ、おんぶ、添い寝など)

自己評価記入シート（保育所版）

54

A-1-(4)-⑬ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。

評価

A

評価の着眼点	観察	聴取	書類	確認書類の例	私たちの実践していること
<input checked="" type="checkbox"/> 授乳は、子どもが欲しがるときに、子どもを安心させる保育者の関わりや落ち着いた環境に配慮して、ゆったりと飲ませている。	○	○	○	0歳児食育年間計画	担当の保育士が飲ませるようにし、子ども達が安心して飲むよう心掛けている。
<input checked="" type="checkbox"/> 離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っている。	○	○			保護者に離乳の進み具合や、食べられるようになった物を確認し、一人ひとりの状況を把握しながら進めている。
<input checked="" type="checkbox"/> おむつ交換時は、衛生面に配慮しながら、子どもを安心させる保育者の関わりや落ち着いた環境に配慮して行っている。	○	○			「気持ち悪かったね」、「気持ちいいね」と声を掛けながら、おむつ交換を行い、子どもが安心できるよう心掛けている。
<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように配慮されている。		○	○	保育課程（1カ月～1歳3カ月）	眠そうにしている子はベッドやラックへ連れていき、他児が触ったり起こしたりしないよう静かな場所へ移動させている。
<input checked="" type="checkbox"/> 外気浴や戸外遊びを行う機会を設けている。	○	○	○	月間個別指導計画	天気の良い日は、子どもの体調など把握した上で、できるだけ外で遊び、気分転換ができるよう心掛けている。
<input checked="" type="checkbox"/> 喃語（乳児のまだ言葉にならない声）には、ゆったりとやさしく応えている。	○	○	○	保育課程（1カ月～1歳3カ月）	子ども達の気持ちを受け止め、同じ目の高さになり、話を聞くようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/> 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせている。	○	○			気道がしっかりと安定していない為、ベッドやコンビラックに仰向けで寝かせるようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの状況等に応じて、たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。	○	○			同じ体勢のままにならないよう必要な時は体勢を変えたり、個々の落ち着く抱き方などで抱っこをしたりしている。
<input checked="" type="checkbox"/> 保育室は明るく衛生的で、温かな雰囲気があり、なおかつ安全性に配慮しながら、子どもが安心して人やものに関わる環境が整備されている。	○		○	保育課程（1歳4カ月～1歳3カ月）	フローリングの上にマットを敷いて、子どもたちがケガをしないよう気を付け、毎日こまめな清掃をし心掛けたり、季節に応じて、ブリーツハンガーを飾っている。
<input checked="" type="checkbox"/> 心身の状態が把握され、日常の状態を観察を行うなど、保健的な配慮をしている。	○	○	○	0歳児デイリープログラム	朝、昼、夕、検温とバイタルチェックを行い、健康に過ごせるようにしている。また、担当の保育士が関わり、安心して過ごせるようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画を作成するとともに、一人ひとりの子どもに応じた記録や評価を行っている。	○	○	○	月間個別指導計画	毎月始め、個別の目標を設定し、達成できるよう保育者が援助できることを考え、日々見守り、日誌に記録しながら経過を見ている。
<input checked="" type="checkbox"/> 保育士は衛生面に配慮をしながら、子ども一人ひとりの状態に応じて丁寧な関わりをしている。	○	○	○	月間運営計画	よだれがよく出る子は、こまめにスタイを交換したり、排泄したときは、沐浴室でおしりを綺麗に洗ってかぶれなどが無いよう心がけている。
<input checked="" type="checkbox"/> 全職員にSIDSに関する知識が周知されている。		○	○		うつぶせ寝にならないよう心がけている。また、乳児は、乳幼児用体動センサー（シエスタBeBe）を使用し、寝ている時も、子ども達の様子が見えるようにしている。
<input checked="" type="checkbox"/> 乳児とのコミュニケーションを高めるための遊びを行っている。	○	○	○	月間個別指導計画	歌や手遊び、絵本などを通して、触れあって遊ぶ時間を作るよう心掛けている。
<input checked="" type="checkbox"/> 保育者との信頼関係を醸成するために、継続的な関わりを保つなどの配慮を行っている。	○	○	○	月間個別指導計画	担当の保育者が、それぞれ関わり、子どもの気持ちに寄り添いながら、欲求をみさせるようにしている。